

第 194 回 競技委員会 議事録

1. 日 時：2008 年 8 月 6 日（水）18 時 00 分～20 時 00 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：清水康裕委員長、古田一雄、斉藤千鶴乃、田中陵華、仲村篤志
以下委任状：林伸之、佐々部君敏、山菅昭夫、平田眞、寺本直志、西田奈津子
オブザーバー：大政哲人
委員総数 11、定足数 8、出席 11（内委任状 6）で成立
4. 議事の経過及び結果：清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 各小委員会報告

清水康裕委員の競技委員長就任に伴い、コンベンション小委員会委員長には田中陵華委員が就任することが承認された。

第 2 号議案 ハンドブックについて

- 第 93 条 C 項 3 管轄団体および主催団体に関する規定について
第 93 条 上告の手順に以下の文章を追加することを決定した。
C3(a)、各競技会の上告委員会に最終的な責任は委譲していない。
(JCBL は上告案件の最終責任を上告委員会には委ねない。)
C3(b)、上告の手順は上告委員会運営細則にて規定。
- スクリーン使用時の規定について
WBF 要項の邦訳の修正文書が事務局より提出され、承認された。
10 月の北京 WMSG に於いて、WBF の規定が 2007 年規則に合わせて変更される可能性があることが大政事業部長より報告された。WBF の新規定に則して、JCBL 規定も変更することが合意された。

第 3 号議案 その他議案

- 高田馬場 BC に於いてシードポイント超過チームが IMP リーグに参加していた件に関して
今期は問題なく運営されていることが仲村篤志委員より確認報告された。
今後同センターで違反があった場合は、IMP リーグの開催を半年間認可しないことが決議された。
- 浜松に於いて開催された「地方会議」からの要望について
 - 1) 文部科学大臣杯フライト B のマスターポイント参加制限を現在の 500 点から、800 点や 1,000 点などに引き上げることを検討して欲しい。
 - a) 現在の試合形式を維持して、フライト B 及びフライト C の参加制限を 750 点に引き上げる。
 - b) フライトを 1 つ増やして新規プレイヤーの参加を促し活性化する。

フライト A：オープン	4 session
B：△ 1000	4 session
C：△ 1000 ウィメンズ	2 session
D：△ 300	2 session。
 - 2) 地方のナショナル予選に於いて、現在はブリーリボンの参加資格は与えられないが、1 位には参加資格を与えることを検討して欲しい。
従来は予選決勝の競技会は合わせてひとつの競技会という考え方のもと、ブルーリボンの参加資格は決勝での結果に対して与えられていた。しかしながら予選でも 2session の競技会の 1 位には変わりはないので、以下の参加資格を加えることで合意した。
 - ・2009 年 1 月 1 日以降に開催される競技会において
 - ・セクショナル、リジョナル、ナショナルにおける 2session 以上の予選競技会での 1 位
- 今回の会議より、報告された上告書を検討し情報を共有することになった。
6 月 1 日の上告が検討された。加重平均の算出方法が不適切であったことが指摘され、EBU の規定に倣った算出方法を文章化し競技規定に盛り込むことで合意した。原案は次回競技委員会にて事務局が提出する。

次回競技委員会は 10 月 1 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上